北見赤十字病院
KITAMI RED CROSS HOSPITAL

ほっと連携

第14号
2010
平成22年2月18日
発　行

◆発行／北見赤十字病院地域医療連携室　北見市北6条東2丁目1番　◆発行責任者／吉田　茂夫
http://kitami.jrc.or.jp　E-mail : renkei @kitami.jrc.or.jp

新しい年を迎えて

北見赤十字病院院長
吉田　茂夫

２０１０年の新しい年を迎えて、当院と地域医療連携を行って頂いております各医療機関の皆様、そして地域の方々並びに職員の皆様、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、地域医療再生臨時特例交付金の100億円事業において、北網地域が北海道で優先度一位となり、大いに期待していたところでしたが、喜びもつかの間、新しく政権党となった民主党政府が100億円交付金事業の25億円事業への削減を決定しました。民主党のマニフェストに地域医療の再生を掲げていましたので、削減の決定には大変驚かされました。申請までの短い時間の中で一生懸命、北網地域の関係者の皆さんと相談をして決めました地域医療再生のための色々な計画でしたので、大変残念に思いました。

しかし他方、北網地域の医療課題が明らかになったことは将来の対策への希望の種ともなりました。昨年一番の忘れがたい出来事であります。

また一方、昨年４月から「内科・総合診療科」、「消化器内科」、「循環器内科」３内科によるオープンカンファレンスが当院で月一度、開かれるようになりました。毎回30数名が集まり、当院の医師、スタッフや研修医、そして連携医療機関の先生方にも議論に加わっていただき、楽しく有意義な症例検討会を開催することを続けて参りました。昨年は９回開くことが出来、お忙しい中時間をとって出席してくださいました関係者の方々に改めて感謝申し上げます。（ちなみに昨年９回の症例検討の題名内容は表１のごとくです。）

また、昨年は当院の懸案でありました糖尿病やリウマチ・膠原病と言った診療科に、様々な方面からのご支援をいただき東京から先生方に赴任していただくことができました。地域の患者さんにとってはすばらしい福音でありましたし、連携医療機関の方々にも患者さん紹介を通して、連携が一層進みましたことは大きな喜びであります。新しい年を迎え、更にこれからは「がん」、「脳卒中」、「心筋梗塞」そして「糖尿病」に対する地域連携の促進、地域連携パスの作成を地域の皆さんと一緒に進めてまいりたいと考えております。また、当院の入院施設や手術場等を使っていただくオープンベッドの活用をますます進めて行きたいと考えております。今年もまた当院の地域医療連携につきご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

●平成22年度
内科系3 診療科オープンカンファレンス

開催予定日表　（第３木曜日18時～１時間30分程）

	開催予定日	担当診療科	
第１回	平成22年４月15日(木)	内科･総合診療科	消化器内科
第２回	平成22年５月20日(木)	内科･総合診療科	循環器内科
第３回	平成22年６月17日(木)	内科･総合診療科（２例）	
第４回	平成22年７月15日(木)	消化器内科	内科･総合診療科
第５回	平成22年９月16日(木)	循環器内科	内科･総合診療科
第６回	平成22年10月21日(木)	内科･総合診療科	消化器内科
第７回	平成22年11月18日(木)	内科･総合診療科	循環器内科
第８回	平成23年１月20日(木)	内科･総合診療科（２例）	
第９回	平成23年２月17日(木)	消化器内科	内科･総合診療科

表１ 内科系３診療科オープンカンファレンス症例検討内容

	題　名	発　表　者
第１回	「高血圧にて通院中、顔色不良により当院内科・総合診療科を紹介され、貧血の精査入院となった73歳、男性症例」	内科･総合診療科 伊藤晋平
	「腹痛にて救急外来受診し、肝機能異常と胆石を認めた27歳、女性症例」	消化器内科 鎌田　豪
第２回	「著明な低ナトリウム血症（Na＝107）で入院した79歳、女性症例」	内科･総合診療科 吉村　敦
	「失神にて救急搬送となった　68歳、男性症例」	循環器内科 野口圭士
第３回	「心窩部灼熱感を契機に精密検査を施行した１例 67歳　女性」	消化器内科 上林　実
	「突然発症する胸部違和感と呼吸困難感および頻脈発作を認めた１例　56歳、男性」	循環器内科 勝山亮一
第４回	「胃腸炎の際に肉眼的血尿を併発した症例」	内科･総合診療科 津田直美
	「腰背部痛とめまいを主訴に当科御紹介いただいた進行胃癌の一例」	消化器内科 大野広志
第５回	「不明熱の３症例」	内科･総合診療科 大谷恵隆
	「心臓CTの３例」	循環器内科 斉藤高彦、勝山亮一、野口圭士
第６回	「失神の２症例」	循環器内科 工藤雅人
	「内視鏡治療中に心肺停止をきたした１例」	消化器内科 鎌田　豪
第７回	「見逃してはならない糖尿病～劇症１型糖尿病～」	内科･総合診療科 福井智康
	「膵尾部切除術後の感染性膵嚢胞に対して内視鏡的ドレナージを施行した一例」	消化器内科 牧山裕顕
第８回	「下腿に多発性の皮下結節と皮膚潰瘍を呈した若年男性例」	内科･総合診療科 佐藤健夫
	「心窩部痛」	循環器内科 勝山亮一
第９回	「切除不能進行胃癌の診断で化学療法施行後に手術を施行した一例」	消化器内科 阿部容子
	「CPK上昇と体調不良にて受診した中年女性」	循環器内科 勝山亮一

■大野院長先生質問コーナー

趣味は何ですか？
―― ゴルフ

特技は何ですか？
―― 特にございません。

座右の銘は何ですか？
―― なせばなる、なさねばならぬ何事も
なさぬは人のなさぬなりけり

これだけは譲れない「こだわり」ってありますか？
―― 外出時に着用する洋服の色と形

最後に自院紹介・ピーアールをお願いします。

当クリニックは平成20年５月新規開院させていただき、今年の５月で開業２年となります。

私は生後から高校時代までをオホーツクの地で過ごし、生まれ故郷の地域医療への貢献の念は私の医師人生の中隔をなす課題となっておりました。したがって、この地での開業には特別な思い入れをもって、日々の診療に携わっております。開業地に選定しました「ひかり野」は旧小泉地区の農地を宅地開発したいわゆる新興住宅地であり、新築住宅がどんどん立ちゆく新しく活気のある地区です。まさに心機新たに仕事に従事できるうってつけの場所だと思っております。また、当クリニックは小児患者さんの比率が他の地域より多い傾向にあり、時間帯によっては「小児科」のように子供さんたちの活気であふれることもあります。当クリニックはスタッフにも恵まれ、７名の心あふれる接遇は自慢のひとつになっており、地元の子供さんからも好評価をいただいております。

医療連携は近年の医療の高度化や細分化、それに昨今の勤務医不足の問題により、必要不可欠なものになってきていると考えております。クリニックはいわば「ホームドクター」としてきめの細かい地域医療の役割を十分果たし、高度医療は病院にお願いする。といった病診連携は現時点では重要であると思います。

当クリニックは微力ながら地域医療の一機関として地域の皆様にお役に立つことができれば幸いと存じます。

ひかりの耳鼻咽喉科クリニック

〒090-0810
北見市ひかり野１丁目２番8
TEL（0157）26-1133
院長：大　野　孝　一
出身大学：近畿大学医学部（H8 年卒）
出身地：美幌町
所属学会：日本耳鼻咽喉科学会、耳鼻咽喉科専門医、耳鼻咽喉科臨床学会
資格
専門分野：耳鼻咽喉科

〈診療のご案内〉

	月	火	水	木	金	土	日･祝
午前8:45～12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後2:00～5:30	○	○	×	○	○	×	×

登録医紹介

■本間院長先生質問コーナー

趣味は何ですか？
―― 子供と遊ぶこと

特技は何ですか？
―― ラグビー・訪問診療

座右の銘は何ですか？
―― one for all,all for one

これだけは譲れない「こだわり」ってありますか？
―― 北見赤十字病院内科系３診療科オープンカンファレンスを休まない。

最後に自院紹介・ピーアールをお願いします。

日頃より北見赤十字病院の各先生方と各部署の方々には大変お世話になっております。

また日夜、オホーツク圏の医療を支えて頂きまして市民の一人として感謝申し上げます。

私はこれまで道東を中心に市立病院や町立病院などに勤務して参りましたが、出身地である北見市に医療の面で少しでも貢献できればと思い、父の経営する医院に平成21年４月より勤務しております。現在34歳で、高校・大学時代にラグビーで培った精神力・体力はまだまだ自信がありますので、外来のみならず訪問診療などでも今後貢献できればと考えております。北見赤十字病院との連携に関しては、急性期の患者様は北見赤十字病院の各科で是非対応をお願いしたいと考えておりますので、急性期を過ぎた患者様をできるだけ当院で受け入れさせて頂き、微力ながら北見赤十字病院の安定した医療体制に貢献できればと考えております。私の専門は消化器内科ですが、地域医療に携わっている期間が長かったため、産婦人科以外の各科の初期対応や経過観察、処方などは可能ですので、もし患者様で待ち時間の少ない開業医での経過観察や処方などを御希望される方がいらっしゃいましたら、気軽に御紹介ください。できる限り患者様のことを第一に考え、対応させて頂きます。今後とも各科の先生方をはじめ、北見赤十字病院の職員の方々に患者様の御紹介やオープンベットの利用、内視鏡治療などで大変お世話になると思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

本間内科医院

〒090-0065
北見市寿町５丁目１番10号
TEL（0157）26-6471
副院長：本　間　栄　志
出身大学：杏林大学医学部（H14年卒）
出身地：北見市
所属学会：日本内科学会認定内科医、日本消化器内視鏡学会認定専門医、日本医師会認定産業医、日本消化器病学会所属
資格
専門分野：消化器内科

〈診療のご案内〉

	月	火	水	木	金	土	日･祝
午前9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後2:00～5:00	○	○	×	○	○	×	×

地域医療連携に関する意見交換会を開催して

北見赤十字病院における「地域医療連携に関する意見交換会」が、平成22年１月29日(金)午後７時から当院大講堂にて開催されました。特に連携の深い医療機関（市内紹介上位22位医療機関）に案内をいたしましたところ、11名の先生方に出席いただきました。

先生方から紹介などについての忌憚の無いご意見やご要望等をお聞きする事ができ、大変、有意義な会となりました。今回の意見、ご要望等を無駄にしないよう、今後よりいっそう地域医療連携を進めて参りたいと思います。

各医療機関の皆様も当院へのご意見、ご要望がありましたら、地域医療連携室までご連絡いただきますようお待ちしております。

病院大忘年会にOB医師・開放病床利用医師をご招待

昨年12月22日（火）18時30分よりビッツアークホテルにて開催されました。今年、初めて当院ＯＢの先生や、開放病床の利用をいただいている先生方にも参加のご案内をいたしましたところ、６名の先生方にご出席いただきました。

吉田病院長の挨拶のあと、地域医療連携室より来賓席の６名の先生方の紹介をし、荒川副院長の乾杯で宴がはじまりました。先生方は、途中、余興のゲームに選出されたり、各診療科の先生と診療に関して情報交換をしたり、昔懐かしい職員との思い出話に花が咲いたりと、楽しんでいただけたのではないかと思います。閉会の挨拶でも、鈴木副院長から６名の先生方に、日頃の感謝と今後ますますのご協力をお願いしますと話されていました。

北網地域がんタウンミーティングに参加して

がん相談支援センター
ソーシャルワーカー　堀　健太郎

昨年11月14日北海道北見保健所・網走保健所主催による北網地域がんタウンミーティングが行われました。

がんタウンミーティングは、患者さんやご家族など、地域住民と関係者が一緒にがん対策を進めるうえでの課題や方策を考える場として２部構成で開催されました。

第１部は、当院のペインクリニック・心療内科部長の大森　英哉より「北網圏における緩和医療の現状と課題」と題して講演が行われ、第２部はパネルディスカッション及び意見交換として、行政・病院・診療所・訪問看護・患者とそれぞれの立場から現状や課題、体験などについて話をされました。

今回のタウンミーティングを通じて、この地域の緩和ケア病棟を含めた緩和ケア体制の強化の必要性や各関係機関の連携の重要性について理解することができ、今後、がん相談支援センターとしても、地域の緩和ケアの充実や５大がん地域連携クリティカルパス作成など、がん連携についても一役を担えればと思いました。

当院が行っているがんサロンは、患者・家族など当事者間での語り合いの場として活動していますが、医療従事者が当事者の体験から学べることも多いことがサロンに参加して分かってきました。がん医療に携わる関係者の方の参加も受け付けておりますので、是非ご参加下さい。がんサロンは毎月１回第３水曜日の14時から16時まで当院大講堂で行っております。

皆様のご参加をお待ちしております。

〝放射線科外来〟

第一放射線科部長 有本卓郎

北網圏は比較的独立した居住圏で、医療センターやコンパクトながんセンターを運営する上では、地域完結型で、考えようによっては、理想的な施設ができる可能性をもっていると思う。背景人口35万人、規模は適切、経過観察がほぼ完璧に可能、高度先進医療を求める地域のニーズがあり、提供側の願望とも適合した。放射線科外来は1992年、今から18年前に北見赤十字病院前前院長の熱心な要望により誕生した。

18年前から、一貫して地域連携最優先のシステム開発とデータベース構築、診断／治療とも地域標準で世界水準をめざしてきた。一地域の地域医療は世界に通じる、の思いがあった。

それから18年、客観的かつ精細な画像診断は、いまや医療のなかのインフラとして確立し、高精度3次元放射線治療は、様々な部位において高齢化時代におけるがん医療のメインステイとなりつつある。

放射線科には一つの重大で本質的な（特徴）欠陥がある。自前で患者調達能力がないことである。放射線科が気に入らないのでつぶそうと思えば簡単、患者を送らなければよい、早晩飢えて死ぬ。そうはならじ、と1992年に3人チームで発足した放射線科は、18年間、勤勉で合理的な努力を続けてきた。自分たちが連携の中で生きていく以外にないことを悟ったものたちの（結構本人たちにとってはあつい）戦いでもあった。めざしたのは、地域連携最優先のシステム開発とデータベース構築、診断／治療とも内容は地域標準、かつ世界水準、であった。夢は大きいのに限るのである。(1)まず、画像診断連携、部長は二次医療圏の40カ所の病院に画像診断（CT／MR／US／RI）Fax申込書を配って御挨拶して歩いた、以後申し込みがあった医療施設には定期的に申込書を配送、患者さんが日赤病院へ出向かなくても検査枠が確保され、専門医によるレポートが翌日とどけられる、このシステムは好評で、基本的な構造を温存したまま、現在では多くの医療機関とのオンライン連携として拡大充実が図られている。隣にいて、的確なアドバイスをくれる画像診断専門医ほど頼りになるものは無い、と多くの先生方にご評価いただいている。交通外傷、肝腎脾破裂などにおけるカテーテル1本での止血なども血管造影の手技を利用した放射線診断医の隠れた特技である。(2)すべての画像診断データとレポートは画像診断データベースとして保存され（PACS: picture archivings & communication system、画像の検索、教育用テイーチングファイル作成、同一疾患内のバリエーション、同一患者の過去画像との比較などが瞬時に可能）教育、研究、画像診断医の育成と錬磨に欠かせないツール、そこからのアウトプットは地域連携に使われる。既に15年間の運用実績と15万件以上の画像データが保管運用されている。もしこれが倉庫に保管されていたとしたら、多くの画像は探し出せず、埃にまみれ、無いのと同じになっていたと思う。電子化されたデータベースのないところにまともな医療はなく、データベースは力の源泉、これが我々放射線科医のモットーのひとつである。(3)放射線科は医療の中では装置産業である、CT/MRI/PET/3D angio/RI gamma camera とお金のかかる装置には枚挙にいとまがない。中でも高額だったのが、国内導入第一号機となった、高精度リニアック治療装置Trilogy。がん医療の新たな一ページを象徴する、3次元、高精度、ピンポイント放射線治療を可能にする次世代装置（ちまたで有名な脳だけの単能機ーガンマナイフなどよりは遥かに高性能で高級）。脳だけではなく、呼吸で移動するI期肺がん、おしっこの量で位置が変動する膀胱がんを的確に狙い撃つために導入された。この地域でも確実に増加している肺がん、前立腺がん、直腸がんをはじめ、頭頸部がん、子宮がん、膀胱がん、食道がんなど、毎年600件、オホーツク圏の新規がん患者の約半数が3次元高精度放射線治療で治療されている。外来で可能ながん治療、毎日5分、静かに寝ているだけ、痛くも痒くもないがん治療が多くの領域で実現している。肺がんI期の5年局所制御率は93%、前立腺がんI－II期は97%である。肺がんでは脳や骨への遠隔転移が後に20－25%発生するが、局所再発する人をほとんど見なくなった。見えざるメス、絵（3次元画像）で見て獲るがん治療、高齢化時代のがん治療のメインステイである。大きな手術や従来型の抗がん剤では負担が大きすぎて、高齢者に生じたがんを治すことはできない。体に優しい、らくちんで的確ながん治療こそ、目指すべき未来である。北網圏のがん患者さんには、世界でも最高水準の放射線治療、がん治療を受けられることを、ここで保証します。この先15年を考えると、できれば市民の皆さんの協力を得て、陽子線治療装置を導入したいと考えていますが、25－40億円の投資は、病院や地域にとって少し負担が大きすぎるかもしれない。自分たちにとって必要な医療の水準は、結局のところ（受益者である）地域住民が選ぶもの。ただ、PETも陽子線治療も、導入されたその日からフル活用できるスタッフが、北見日赤病院にはすでに居るということを、ぜひ覚えておいてください。

放射線科外来には、現在、おおまかにわけて3つの外来診療機能があります。

(1)画像診断外来　(2)放射線腫瘍外来　(3)がん遺伝子解析に基づく難治癌外来です。

(3)は最近力を入れている新しい領域で、進行期肺がん、手術不能大腸直腸がん、脳膠芽腫、膵がん、肉腫など、現状では手術や放射線治療で最善を尽くしても治りにくいがん種への対策です。

がんは正常な細胞の特定の遺伝子が変異して（3万個の遺伝子のうちがんに関連するのは200－250個）、あるいは遺伝子の機能はたらきかたが変異することによって生ずる病気です。その変異をもたらす原因は多様（環境、遺伝、発がん物質など）ですが、病態としてそれ以外の形のがんは存在しません。今放射線外来で手がけているのは、難治がんのがん遺伝子を解析し、それに応じた分子標的剤治療薬を選択し、ピンポイント放射線治療と組み合わせる、次世代型のがん治療です。不快な副作用は最小でお年寄りに最適、90歳でも、場合によっては腎不全でも治療が可能です。非常にシャープな効果を示すものの、個々のがんのがん遺伝子の変異の状態（プロファイル）によって効果の有無が決まるため、がん遺伝子の解析には、がん組織の採取、2週間の時間と25－30万円（特別に価格交渉して5－9万円）の余分な手間と費用がかかります。消化器内科、呼吸器外科、病理部門、SRL中央研究所などとの共同研究です。Ⅳ期肺がん（生存期間中央値8ヶ月）患者さんが6年以上元気で生きたり、切除不能直腸がんが跡形も無くなったりして、手応えを感じます。偶然におこったことではない明確にねらったうえで結果が出ていることが重要です。まだ日本ではどこの大学もこれから手を付けようとしている分野で、各診療科間の障壁が高い日本の大学ではなかなか実行が難しい領域です。北見赤十字の研究は全国の学会でも注目を浴び、部長は忙しい日々を強いられています。

世界で最初のI期肺がんへの定位放射線治療は、1993年に北見赤十字病院で第1例目が行われ、その後10年を経て、健康保険に収載されました。昨年11月の世界肺がん学会日米セミナーで、アメリカ側から開発者としての栄誉を与えられました。これは我々の輝かしい前歴です。

我々の努力にもかかわらず、現在約40%のがんが難治性で従来の治療法では歯が立ちません。個々のがんはそれぞれに違ったがん遺伝子の発現様式（プロファイル）と悪性度をもっています。分子生物学の30年間の集積を臨床医学に応用できる時代がやっときた、失敗は許されない、と、大胆かつ注意深く研究をすすめています。事実と真実にしか興味の無いとんがった腫瘍医を、優しい人間的知性でフォロー／サポートしてくれる専任看護士の存在、高精度の鬼となって日々の治療を実施してくれる専任診療放射線技師、いつでも頼りになる診断医、彼らとのチームで成り立っている放射線科外来です。感謝が足りない？かもしれません。4月にアップ予定の北見赤十字病院ホームページ〝がん診療案内電子版〟で、彼らを詳しくご紹介します。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

糖尿病学術講演会を開催

昨年11月4日に、当院とサノフィ・アベンティス株式会社の共催により、昭和大学病院糖尿病・代謝・内分泌内科　教授 平野　勉先生をお招きし、当院大講堂において開催いたしました。会場には院外の関係者も含め、106名の参加者がつめかけ、急遽、会場の座席を増やすなどの対応をいたしました。

当院の吉田病院長が座長となり、左記の内容で進められました。

【一般演題】

「リスクマネジメントを踏まえたインスリン指示書変更への取り組み」
北見赤十字病院　看護部
稲里　綾　看護師

【講　演】

「1型糖尿病の診断方法と最新の話題」
～緩徐進行1型糖尿病・劇症1型糖尿病～
北見赤十字病院　第二内科・総合診療科
副部長　福井　智康　先生

【特別講演】

「明日から役立つ糖尿病治療」
昭和大学病院　糖尿病・代謝・内分泌内科
教授　平野　勉　先生

参加者のアンケートからは、「2型糖尿病によく使用されている薬についてわかりやすく理解ができました。普段よく使われている薬についてきちんとした理解をしておく必要があると感じました」、「内服治療薬の特徴が良くわかりました」などの感想が寄せられていました。

新任・新着医師紹介

第二内科副部長
勝呂　俊昭

第三内科部長
佐藤　健夫

小児科医師
鳴神　雅史

神経精神科医師
伊藤　哲寛

第二産婦人科部長
島野　敏司

形成外科医師
大谷　秀和

産婦人科医師
本田あかり

第二産婦人科副部長
長沼　孝至

麻酔科医師
大沼　　淳

眼科医師
谷澤　和之

～お知らせ～　受付時間を統一化しました

外来受付のご案内

○：受付しております
☆：紹介状が必要です
－：手術・検査等

～受付時間～　午前　8：00～11：00　午後　1：00～3：00

※ご不明な点は受付にご相談下さい。　平成21年12月1日現在

曜日 / 科目	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科・総合診療科	○	－	○	－	○	－	○	－	○	－
消化器内科	☆	－	☆	－	☆	－	☆	－	☆	－
循環器内科	☆	－	☆	－	☆	－	☆	－	☆	－
神経精神科	○	－	○	－	○	－	○	－	○	－
小児科	○	専門外来	○	専門外来	○	専門外来	○	・1ヶ月健診 ・予防接種	○	専門外来
外科	○	－	○	－	○	専門外来	○	－	○	－
整形外科	☆	－	☆	－	☆	－	☆	－	☆	－
形成外科	－	○	－	－	－	○	○	－	－	○
脳神経外科	○	－	○	－	○	－	○	－	○	－
皮膚科	○	○	○	－	○	○	○	○	○	－
泌尿器科	○	－	○	－	○	－	○	－	○	－
産婦人科	○	－	○	－	○	－	○	1ヶ月健診	○	－
眼科	○	○	○	－	専門外来（第2. 4）	－	○	－	○	○
頭頸部・耳鼻咽喉科	○	学童外来	○	－	○	－	－	－	○	学童外来
放射線科	○	－	○	－	○	－	○	－	－	－
ペインクリニック	○	○	○	○	－	－	○	○	－	○
心療内科	完全予約制（受診希望の方は受付にご相談下さい。）									
麻酔科	○	－	○	－	○	－	○	－	○	－

～ 診療時間は　8：30開始となっております。
診療科により異なりますので、ご了承願います ～

専門外来、学童外来、１ヶ月健診、予防接種は、事前に予約が必要です。
土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12／29～1／3）・５月１日（日本赤十字社創立記念日）は休診いたします。

＊　緊急時は消化器内科、循環器内科、整形外科を含め、全ての科で対応させていただきます。

北見赤十字病院
TEL：(0157)24-3115
http://www.kitami.jrc.or.jp/

第２回 北見赤十字病院 緩和ケア研修会開催のご案内

2007年がん対策基本法に基づく、がん対策推進基本計画では、『すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する』ことが求められています。これを受け、この度当院で、厚生労働省の開催指針に沿った緩和ケア研修会を開催することとなりました。

開催日は平成22年6月26日(土)・27日(日)の２日間です。内容につきましては緩和ケアについて・がんの消化器症状や呼吸困難・疼痛事例検討会・がんの告知をするときのロールプレイなどを行います。

この研修会が北網圏・遠紋圏の緩和医療のますますの充実に少しでもお役に立てればと考えております。お忙しい中とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

（北見赤十字病院　がん対策推進室）

外来ご案内

診療科目

- ●内科・総合診療科
- ●消化器内科
- ●循環器内科
- ●神経精神科
- ●小児科
- ●外科
- ●整形外科
- ●形成外科
- ●脳神経外科
- ●皮膚科
- ●泌尿器科
- ●産婦人科
- ●眼科
- ●頭頸部・耳鼻咽喉科
- ●放射線科
- ●麻酔科
- ●ペインクリニック・心療内科

休診

●土曜日　●日曜日　●祝日
●12月29日～１月３日
●５月１日（日本赤十字社創立記念日）

事前予約について

紹介状を持参される患者様につきましては、患者様の受診希望日時を事前にFAXにて予約診療のお申込みいただきますと、診察当日、待ち時間が短縮されます。ぜひご利用願います。
（但し、急患の場合は各科へ直接連絡願います。）

診察カード

診察券は全科共通で使用いたします。
ご来院時に必ずお持ちください。

保険証

健康保険証はご来院時に確認させていただいております。特に、更新・変更の際は必ずご提出下さい。

地域医療支援病院

北見赤十字病院

『理念』

人道・博愛に基づき、患者様を尊重した医療を提供し地域の期待と信頼に応えます。

『基本方針』

1. 真に患者本位の医療を提供する、モラルと技術の高い病院を目指します。
2. 二次～三次の救急医療と高度医療の充実した病院を目指します。
3. 職員が成長でき、働く満足度の高い病院を目指します。
4. 健全経営を行い、医療活動を通じて地域社会に還元します。

『患者様の権利』

1. 誰もが年齢・性別・人種・職業などに関係なく公平に医療を受ける権利があります。
2. 誰もが一人の人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
3. 誰もが分かり易い言葉や方法で、理解・納得できる十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
4. 誰もが納得したうえで自らの意思で医療行為を選択または拒否する権利があります。
5. 誰もが説明に納得できない場合は他の病院・他の医師に意見を求めること（セカンド・オピニオン）ができる権利があります。
6. 誰もがプライバシー（個人情報保護法）を厳格に保護される権利があります。
7. 誰もが自分の診療記録の情報を得る権利があります。

『患者様へのお願い』

1. 患者様及び御家族の方々は、患者様の健康状態、アレルギー歴、病歴等について出来るだけ正確にお伝え下さい。
2. 医療スタッフの説明を良くお聞きになり、ご理解のうえ指示に従って治療や検査などの医療行為をお受け下さい。
3. 病院内では秩序を保ち、他の患者様のご迷惑にならない様にお願いいたします。
4. 医療費は速やかにお支払い下さいますようにお願いいたします。
5. 当院は臨床研修病院として、卒前・卒後研修教育を担っています。医療専門職の育成にご理解・ご協力をお願いいたします。

北見赤十字病院　診療一覧表

平成22年１月４日現在

※都合により担当医が変更になる場合があります。

診療科			月	火	水	木	金
内科・総合診療科	午前		田中	田中	田中		
					大谷	大谷	大谷
			佐藤	＃佐藤	＃佐藤	佐藤	＃佐藤
			吉田（知）			吉田（知）	吉田（知）
			勝呂	勝呂		勝呂	勝呂
			新里		吉田（茂）		
			大野	大野			
	午後		検査・予約診療・急患診療のみ				
			＃リウマチ・膠原病（佐藤）紹介患者予約は火・水・金になります				
消化器内科	午前		上林	藤田	鎌田	藤田	鎌田
			牧山	立花	牧山	上林	立花
				阿部		阿部	
	午後		検査・予約診療・急患診療のみ				
循環器内科	午前			斉藤	斉藤	斉藤	斉藤
			勝山	及川	勝山	野口	及川
			工藤	野口	工藤	工藤	
	午後		検査				
神経精神科	午前	新患（再来）	藪本	嶋田	藪本	嶋田	嶋田／藪本
		再来	藪本	嶋田	嶋田	藪本／伊藤	嶋田／藪本
	午後		予約・急患診療のみ				
小児科	午前		三河	小林	三河	小林	三河
			小林	三河	小林	三河	小林
	午後	特殊	小林	三河	三河	阿部・植木	三河
			斉田	山崎・鳴神	小林		小林
					斉田		斉田
外科	午前	新患	池田	北上	池田／新関／村上	村上	新関
		再来	山本	村上	須永	池田	北上
		専門外来		内視鏡外科：北上			呼吸器外科：新関
	午後	再来	小出・山本	村上	須永	池田・山本	新関
		専門外来			血管外来：佐久間		内視鏡外来：北上
整形外科	午前		菅原	＃菅原	＃中川	＃森末	＃菅原
			＃森末	中川	妹尾	妹尾	森末
			妹尾	原	原	原	中川
			（手術）	手術	手術	手術	（手術）
	午後		予約検査・手術	3ヶ月児股脱健診・手術	手術	手術	予約検査・手術
			＃紹介患者専用				
形成外科	午前		藤井（予約のみ）	手術	大谷（予約のみ）	藤井	手術
						大谷	
	午後		藤井	手術	藤井	手術 予約検査	レーザー外来
			大谷		大谷		しみ外来
							予約外来
脳神経外科	午前		津田	鈴木	鈴木	緊急診療	高杉
	午後		急患診療のみ				
皮膚科	午前		飛澤	飛澤	飛澤	飛澤	飛澤
			岩崎	岩崎	岩崎	岩崎	岩崎
	午後		飛澤	手術	飛澤	飛澤	手術
			岩崎		岩崎	岩崎	
泌尿器科	午前		藤井	藤井	藤井	藤井	藤井
			川上	川上	川上	川上	川上
			橋爪	橋爪	橋爪	橋爪	橋爪
	午後		検査	手術	手術	手術	検査
産婦人科	午前	婦人科	島野	水沼	島野	根岸	水沼
			根岸	本田	井上	本田	井上
		産科	水沼	井上	根岸	島野	本田
	午後		手術	検査・母親学級	手術	1ヶ月健診・検査	手術
眼科	午前		谷澤	菅原	手術	谷澤	菅原
			鴇澤	谷澤		鴇澤	谷澤
	午後		谷澤	予約検査	予約検査	予約検査	谷澤
			鴇澤	手術	手術	手術	鴇澤
頭頸部・耳鼻咽喉科	午前		金井	和田	金井	手術	金井
			和田	小林	小林		和田
			森合	森合	森合		小林
	午後		予約診療	手術	手術	手術	予約診療・手術
放射線科	午前		有本	有本	有本	有本	リニアック治療中の患者診療のみ
	午後		急患診療のみ				
ペインクリニック心療内科	午前		ペインクリニック	ペインクリニック	心療内科	ペインクリニック	心療内科・ペイン（予約）
	午後		ペインクリニック	ペインクリニック	心療内科（隔週休診）緩和外来	ペインクリニック	ペインクリニック
麻酔科	午前（術前診察）		荒川	君島	佐藤	望月	大沼

～ お知らせ ～

登録医療機関様の大講堂ご利用について

市民、当院職員が参加できるような医療に関する勉強会、講演会等に、無料でお貸しいたします。
直接、総務課へご相談下さい。
（TEL（0157）24 - 3115（代表））

◎院内での使用もかなり先まで埋まっておりますので、お早めにご相談下さい。

北見赤十字病院　地域医療連携室

ご意見・ご要望がございましたら、地域医療連携室までお願いいたします。

受付時間：月曜日～金曜日　午前8：30～5：00迄
TEL0120-018-299　FAX0120-018-599
E-mail：renkei@kitami.jrc.or.jp